



平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社テーオーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9812 URL https://tohd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小笠原 康正
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 小山 直樹 TEL 0138-45-3911
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	18,141	△9.4	△253	—	△265	—	△251	—
29年5月期第2四半期	20,015	4.7	276	24.6	396	119.6	198	108.3

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 △176百万円 (—%) 29年5月期第2四半期 308百万円 (208.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	△40.01	—
29年5月期第2四半期	31.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	32,321	3,172	9.8	502.64
29年5月期	30,305	3,367	11.1	537.60

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 3,172百万円 29年5月期 3,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	2.0	200	75.9	200	△9.6	100	—	15.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期2Q	8,926,896株	29年5月期	8,926,896株
② 期末自己株式数	30年5月期2Q	2,615,327株	29年5月期	2,662,927株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期2Q	6,274,155株	29年5月期2Q	6,258,244株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で、海外では地政学リスクなどもあり先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは平成29年6月1日より持株会社体制に移行し、新たな体制のメリットを活かした「新ビジネスの構築(新化)」と「既存ビジネスの充実(深化)」を基本戦略とした中期経営計画「T0 Future Plan (TFP)」をスタートいたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が18,141百万円(前年同期比9.4%減)、営業損失は253百万円(前年同期は276百万円の営業利益)、経常損失は265百万円(前年同期は396百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は251百万円(前年同期は198百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

木材事業におきましては、住宅着工件数の増加に伴い建築資材の販売は堅調に推移したものの、原材料価格の上昇など原価増加分の販売価格への転嫁が遅れていることなどにより利益率が低い状態で推移しました。

この結果、売上高は5,049百万円(前年同期比0.1%増)、営業損失は44百万円(前年同期は54百万円の損失)となりました。

流通事業におきましては、平成29年6月に株式会社テーオーリテイリングがイエローグローブ恵庭店(北海道恵庭市)を開店するなど販売力の強化に取り組んだものの、耐久消費財に対する消費マインドが低迷していることなどにより売上高、営業利益とも前年同期を下回りました。

この結果、売上高は7,351百万円(前年同期比2.0%減)、営業損失は39百万円(前年同期は25百万円の損失)となりました。

住宅事業におきましては、新築戸建住宅の受注着工件数は増加しているものの、引き渡し件数の減少により売上高、営業利益とも前年同期を下回りました。

この結果、売上高は461百万円(前年同期比54.2%減)、営業損失は18百万円(前年同期は227百万円の利益)となりました。

建設事業におきましては、工事受注は件数が順調に推移しておりますが、当第2四半期連結累計期間における引き渡し実績は大幅に減少したことにより、売上高、営業利益とも前年同期を下回りました。

この結果、売上高は157百万円(前年同期比91.8%減)、営業損失は13百万円(前年同期は74百万円の利益)となりました。

不動産賃貸事業におきましては、売上高は247百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益は33百万円(同68.6%減)となりました。

自動車関連事業におきましては、軽自動車を中心に新車の販売台数が増加したことにより、売上高は前年同期を上回ったものの、営業費用の増加により利益は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は4,243百万円(同14.0%増)、営業損失は51百万円(前年同期は5百万円の損失)となりました。

スポーツクラブ事業におきましては、売上高は88百万円(前年同期比9.0%増)、営業損失は13百万円(前年同期は14百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は32,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,015百万円増加しております。主な要因としましては、商品及び製品が423百万円、未成工事支出金が1,183百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は29,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,210百万円増加しております。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が411百万円、短期借入金が1,973百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産は、3,172百万円となり前連結会計年度末に比べ195百万円減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて81百万円増加し1,386百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は36百万円(前年同期は632百万円の獲得)で、主に仕入債務が411百万円及び前受金が1,149百万円それぞれ増加したものの、たな卸資産の増加による支出が1,552百万円あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は567百万円(前年同期は755百万円の使用)で、主に有形固定資産の取得による支出が539百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は686百万円(前年同期は241百万円の獲得)で、主に長期借入金の返済による支出が1,460百万円あったものの、短期借入金の純増額が2,112百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月14日発表の決算短信及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,358,904	1,454,042
受取手形及び売掛金	2,925,827	3,160,301
営業貸付金	993,941	978,169
商品及び製品	4,808,075	5,232,071
販売用不動産	2,193,755	2,275,429
原材料及び貯蔵品	1,430,839	1,564,635
未成工事支出金	126,393	1,310,003
その他	847,369	845,559
貸倒引当金	△141,107	△154,181
流動資産合計	14,543,999	16,666,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,941,739	3,784,864
貸貸用資産(純額)	3,639,711	3,644,884
土地	4,254,652	4,249,309
その他(純額)	1,904,593	1,914,394
有形固定資産合計	13,740,698	13,593,453
無形固定資産		
のれん	191,365	168,416
その他	299,812	302,239
無形固定資産合計	491,178	470,656
投資その他の資産		
投資有価証券	676,454	692,417
その他	1,150,359	1,199,204
貸倒引当金	△296,807	△300,042
投資その他の資産合計	1,530,008	1,591,579
固定資産合計	15,761,885	15,655,689
資産合計	30,305,885	32,321,721

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,615,035	6,026,191
短期借入金	10,342,349	12,315,989
未払法人税等	154,588	70,676
引当金	229,587	214,691
その他	1,701,590	2,818,066
流動負債合計	18,043,154	21,445,615
固定負債		
長期借入金	5,809,913	4,687,441
退職給付に係る負債	881,475	864,651
役員退職慰労引当金	105,838	92,276
その他	2,098,002	2,059,259
固定負債合計	8,895,229	7,703,627
負債合計	26,938,383	29,149,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,775,640	1,775,640
資本剰余金	1,944,288	1,915,888
利益剰余金	1,235,188	921,522
自己株式	△1,288,310	△1,214,751
株主資本合計	3,666,806	3,398,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,335	△25,175
退職給付に係る調整累計額	△268,969	△200,645
その他の包括利益累計額合計	△299,304	△225,820
純資産合計	3,367,501	3,172,478
負債純資産合計	30,305,885	32,321,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	20,015,893	18,141,140
売上原価	15,855,408	14,395,836
売上総利益	4,160,485	3,745,304
販売費及び一般管理費	3,884,091	3,999,159
営業利益又は営業損失(△)	276,393	△253,854
営業外収益		
受取利息	1,221	318
受取配当金	11,146	10,654
受取保険金	94,544	11,467
受取補償金	57,650	—
その他	73,109	78,432
営業外収益合計	237,672	100,872
営業外費用		
支払利息	90,322	90,459
その他	27,534	22,545
営業外費用合計	117,857	113,005
経常利益又は経常損失(△)	396,208	△265,988
特別利益		
固定資産売却益	2,808	1,801
特別利益合計	2,808	1,801
特別損失		
固定資産除却損	7,170	—
固定資産売却損	3,180	—
減損損失	—	20,351
特別損失合計	10,351	20,351
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	388,665	△284,538
法人税、住民税及び事業税	102,888	64,157
法人税等調整額	87,587	△97,667
法人税等合計	190,475	△33,509
四半期純利益又は四半期純損失(△)	198,190	△251,028
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	198,190	△251,028

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	198,190	△251,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,171	5,802
退職給付に係る調整額	29,859	68,323
その他の包括利益合計	110,030	74,126
四半期包括利益	308,220	△176,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,220	△176,901

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	388,665	△284,538
減価償却費	406,005	451,899
減損損失	—	20,351
のれん償却額	22,949	22,949
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,355	16,436
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25,874	21,784
受取利息及び受取配当金	△12,368	△10,972
支払利息	90,322	90,459
受取保険金	△94,544	△11,467
受取補償金	△57,650	—
有形固定資産売却損益(△は益)	372	△1,801
有形固定資産除却損	7,170	—
引当金の増減額(△は減少)	△5,965	△20,857
売上債権の増減額(△は増加)	△936,878	△215,156
たな卸資産の増減額(△は増加)	△375,742	△1,552,064
仕入債務の増減額(△は減少)	1,046,301	411,156
前受金の増減額(△は減少)	219,821	1,149,378
その他	△139,285	74,851
小計	581,691	162,408
利息及び配当金の受取額	12,378	10,986
利息の支払額	△92,179	△91,977
保険金の受取額	94,544	11,467
補償金の受取額	27,644	—
法人税等の支払額	△46,271	△148,069
法人税等の還付額	54,198	18,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	632,007	△36,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,051	△25,781
定期預金の払戻による収入	3,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△657,196	△539,023
有形固定資産の売却による収入	15,755	15,885
投資有価証券の取得による支出	△72,648	△10,338
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△12,749	△21,924
貸付金の回収による収入	15,485	22,271
その他	△34,965	△21,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△755,368	△567,959

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	461,459	2,112,000
長期借入れによる収入	1,400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△1,409,533	△1,460,832
自己株式の取得による支出	△0	-
自己株式の売却による収入	6,142	45,159
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△151,075	△144,143
割賦債務の返済による支出	△3,339	△3,339
親会社による配当金の支払額	△62,539	△62,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	241,113	686,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	117,752	81,356
現金及び現金同等物の期首残高	814,550	1,304,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	932,302	1,386,134

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。